

奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催

～損保業界と警察・関係団体との連携の重要性を再認識～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、7月10日（木）に奈良市内で、令和7年度奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など33名の出席がありました。

開会に際し、奈良県損害保険防犯対策連絡協議会の 磯崎 剛 会長（三井住友海上火災保険株式会社奈良支店長）から、関係各位の協力のもと45回目の総会が開催できたことへの謝辞とともに、「交通事故や火災を契機とした保険金詐欺や災害に便乗したリフォーム詐欺、悪質ロードサービス業者の問題など、保険制度を悪用する行為が後を絶たないなか、保険会社の重要な社会的使命を果たすべく、不当不正請求の排除、保険犯罪の防止に一層の努力を重ねたい。」との挨拶がありました。

当協議会顧問の奈良県警察本部 奥村 直樹 刑事部長からは、県内の治安情勢や交通事故発生件数、さらには暴力団情勢等の話を交えて挨拶がありました。

また、来賓の挨拶では、公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 北出 秀徳 事務局長から、暴力団の数は減少しているが、匿名・流動型犯罪グループを利用、共謀する等、時代の変化に応じて多種多様になっている。引き続き暴力団排除条例基本理念のもと、関係各位との連携を密にして暴力団等の排除活動を行いたいとの話があったほか、奈良弁護士会民暴・非弁活動取締委員会の 大寺 健太 委員長からは、反社会的勢力による民事介入暴力や不当要求、非弁活動等により、損害保険の健全な運営を損なうことがないように、引き続き本協議会を通じた関係団体の連携は極めて重要である旨の話がありました。

続いて、当協議会の 竹村 幹事（あいおいニッセイ同和損保社）から、令和6年度の活動報告および令和7年度の活動計画（案）提案があり、当協議会の活動の活性化、情報交換の強化、弁護士会との連携強化、医師会との連携強化等に取り組むことが満場一致で承認されました。

その後、当協議会の 廣川 会員（東京海上日動社）より「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や不正を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が力強く読み上げられ、満場一致で承認されました。

第二部では、奈良県警察本部 生活安全部生活安全企画課 港 淳平 犯罪抑止対策室長から「最近の犯罪情勢について」、次いで、同交通部交通指導課 吉村 敏一 課長補佐から「自動車修理業者によるレンタカー費用名目の保険金詐欺事件について」、最後に、同刑事部組織犯罪対策課 岩本 信也 暴力団対策官から「暴力団情勢等について」と題して、それぞれ講演をいただき、知見を広めることができました。

閉会にあたっては、望月 副会長（東京海上日動社）から「保険制度を悪用した不正請求事犯は年々悪質巧妙化するなど、損保業界を取り巻く情勢は依然として厳しい環境にあるなかで、引き続き関係機関の皆様からのご指導、ご支援をお願いしたい。」との挨拶があり全体を締めくくりました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、警察・関係団体と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。

総会の概要は以下のとおりです。

第 45 回奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会 式次第

第 1 部 総会

1. 会長挨拶
2. 顧問・来賓挨拶 奈良県警察本部 刑事部長 奥村 直樹 様
公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 事務局長 北出 秀徳 様
奈良弁護士会 民暴・非弁活動取締委員会 委員長 大寺 健太 様
3. 令和 6 年度活動報告・令和 7 年度活動計画（案）提案
4. 決議文採択

第 2 部 講演会

「最近の犯罪情勢について」

講師 奈良県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室長 港 淳平 様

「自動車修理業者によるレンタカー費用名目の保険金詐欺について（事例紹介）」

講師 奈良県警察本部 交通部 交通指導課 課長補佐 吉村 敏一 様

「暴力団情勢等について」

講師 奈良県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課 暴力団対策官 岩本 信也 様

閉会挨拶



司会の齋藤幹事
(三井住友海上社)



開会挨拶をする磯崎会長
(三井住友海上社)



活動報告を行う竹村幹事
(あいおいニッセイ同和損保社)



決議文を読み上げる廣川会員
(東京海上日動社)



閉会挨拶をする望月部会長
(東京海上日動社)



会場の様子